

【令和7年度 第1回 関係者評価委員会 議事録】

日時：令和7年 7月 5日（土）10：00～11：00

●開会挨拶（理事長）

●現在の園の様子、取り組みについて（園長・各部門主幹より説明あり）

●意見交流会

1 園児数および定員の状況について

2025年7月現在、在籍園児数は302名であり、年度内には約310名になる見込みである。定員は333名であり、0歳児に関しては保育士の配置基準に基づき、定員よりも抑制した受け入れを行っている。0歳児の定員上限は26名だが、現在は18～19名にとどめており、今後、保育士の確保状況に応じて調整を検討している。

2 職員採用の計画と課題

2025年度の新規採用に向けて、8月23日に採用試験を実施予定であり、3～5名の採用を目標としている。法人内の人事異動制度は存在するものの、過去に異動が原因で離職した事例もあるため、慎重な運用が求められる。保育士不足は全国的課題であるが、本園は規模が大きく職員数も多いため、休暇取得や年次有給休暇の消化がしやすい環境が整備されている。これは監査でも高く評価された。

3 職員研修の実施状況

園内で年間研修計画を策定し、新人、中堅、ベテラン職員それぞれに適した研修機会を提供している。フレーベル館のオンライン研修を活用し、キャリアアップ研修60時間の達成を目指している。これは処遇改善加算の支給要件ともなる重要な取り組みである。給食担当職員も該当する研修の受講が進められている。

4 保護者連絡アプリ「バピーナ」の活用状況

保護者との情報共有手段として「バピーナ」を導入し、連絡事項がスマートフォンに通知される体制を整えている。一方で、行事予定表や献立表など、紙媒体での確認を希望する保護者の声にも配慮し、玄関に掲示を行い、必要に応じて印刷物としての配布も可能な体制を整えている。

5 保護者会との連携・活動実績

熱中症対策として、運動会を11月初旬に開催する方針を継続している。また、保護者会と連携して園前の花壇整備を行い、野菜の栽培活動に取り組んだ。園児・保護者ともに満足度が高く、近隣に畑を移設したことで日常的な観察もしやすくなった。

6 物価高騰への対応

給食材料費は月160～180万円規模であり、自治体からの補助金によって保護者負担を抑制している。光熱費については、太陽光発電の導入により大幅な上昇は回避されている。教材費についてはコスト高が続いているが、安価な素材を活用するなどして工夫している。また、米価の高騰による家庭

の経済的負担にも配慮し、現行の持参制度を維持しつつ柔軟な対応を検討している。

7 地域からの評価・印象について

委員会内では、地域からの具体的な評判や苦情等の報告は特に寄せられていないが、今後も地域との信頼関係を維持・向上させていく必要がある。

まとめ

わかばこども園では、職員体制の安定化、保護者との連携強化、地域との共生、そして研修を通じた職員の専門性向上に継続的に取り組んでいる。今後も保育の質の向上と園児の健やかな育成を目指し、引き続き関係者間の協力を深めていくことが期待される。

●次回、第2回関係者評価委員会：令和8年2月28日（土）10：00～予定